

■発行/公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間/午前9:00~午後9:00

休館日/毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)
年末年始

住所/愛媛県松山市市坪西町551番地

TEL/089-965-3111

FAX/089-965-3388

ホームページ/<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム/https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第四十二号

TOPIX

- 1 新たな歩みに向けて(剣道)
- 2 東洋大団体3連覇!愛媛県出身選手が団体、個人で大活躍!(相撲)
- 3 2018年ベテランズ国際柔道大会(第15回日本マスターズ柔道大会)(柔道)
- 4 事業報告

剣道 Kendo

新たな歩みに向けて

執筆/愛媛県剣道連盟 理事長 菅 幹博

昨年の第72回国民体育大会愛媛県大会において、剣道競技は4種別(少年男女・成年男女)完全優勝という快挙を成し遂げました。この全種別制覇は過去にもありましたが、長い歴史の中で8県のみという結果になっています。大会当日の選手並びに大会スタッフはもちろんのこと、10年前より県下剣道家の御協力を得て、こつこつと蓄積された力がこの大会で発揮されたといっても過言ではないと思います。御協力を賜りました皆様方に改めて心よりお礼申し上げます。

さて、本年4月には剣道連盟の役員が改選され、次のように決定しました。

愛媛県剣道連盟	名誉会長	三浦 公義
	会長	俊野 徹人
	筆頭副会長	白石武平太
	副会長	藤岡 渉
	副会長	大城戸 功
	副会長	村上 高志
	相談役	大原國一郎
	理事長	菅 幹博

平成30年度、愛媛県剣道連盟は、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という剣道理念のもと、重点目標を

・「会員参加型の組織運営」に努めるとともに「幼少年の健全育成」を推進し、合わせて「社会貢献」できる組織づくりに努める。

・社会のニーズを取り入れながら「生涯剣道」を目指す環境づくりに努め、活動の母体となる「加盟団体を積極的に支援」する。

この二つの事業指針を定め、国民体育大会から得た様々な教訓を胸に、今後とも精進を続けたいと考えています。

また、愛媛県剣道連盟は、来年度で70周年を迎えようとしています。

愛媛県剣道連盟創設の概要としましては、昭和21

年(1946)年4月、愛媛県警察は警察官の士気高揚の名目により、柔道と併せて剣道大会を企画し、進駐軍に対する事前交渉を行いました。5月上旬、進駐軍幹部、同家族を松山支庁ホールに招待し、警察官による番組試合を披露し、治安維持に専念する警察官の体力増強には、日本古来の武道が最適であることを説明、その理解を得ることに成功しました。そして、これを機会に「剣道の復活」と喜びましたが、5月下旬、極東軍司令官アイケルパーカー中將名で、「剣道大会不可」の通達に接し、再び剣道を口にすることはできませんでした。

続く剣道復活の動きは昭和24年(1949)年の5月、中原喜一氏、源 音松氏、松山市在住の有志を中心として始動し始めました。まずは剣道禁止の元凶ローレンス大佐、セアールス中佐を再三訪問、剣道が特に高い次元のスポーツであることを力説して承認を得ました。11月2日松山市三番町ダンスホール「メリーランド」を酒井菊蔵氏の尽力により借り受け、練習場としました。その4日後の11月6日「愛媛県剣道大会」と銘して、発会式を兼ねて記念剣道大会を開催しました。上記のことから愛媛県剣道連盟の発足を昭和24年として平成11年9月15日(日)第50回愛媛県剣道大会、創設50周年記念大会を愛媛県総合運動公園体育館で開催しました。(全剣連30周年記念誌より)

本年は、来年度の記念大会及び記念行事、ひいては今後の剣道連盟の更なる発展のためにできることを考えながら、行事を計画していきたいと考えています。

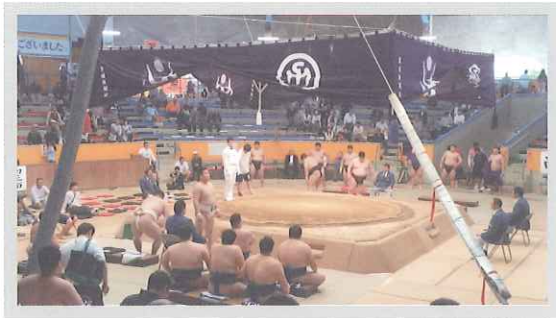
どの武道でも同じですが、昨今の緊急課題として、競技人口の減少が上げられています。少子化に伴い剣道においても少しずつ減少しているのが現状です。ここで改めて剣道の魅力を考え、紹介するとともに、より一層の競技力の向上と、剣道人口の増加のためには愛媛県武道館は欠かせないものの一つです。今後とも武道団体と手を取り合い諸般の課題に取り組んで参りたいと考えています。

東洋大 団体3連覇! 愛媛県出身選手が団体、個人で大活躍!

第35回全日本大学選抜相撲宇和島大会レポート

執筆/ 愛媛県相撲連盟副理事長 龍山 義弘

平成30年4月29日に愛媛県宇和島市で第35回全日本大学選抜相撲宇和島大会が開催されました。毎年、4月29日に宇和島市宮闘牛場で開催されている本大会も今年で35回目となり、シーズン最初の学生相撲の全国大会ということで、各大学の今年一年の活躍を占う非常に重要な大会となっています。大会には、東・西の学生相撲連盟から選ばれた団体12校と個人戦には地元枠で出場する愛媛県出身者を含む約90人が出場しました。



本大会に出場した10人の愛媛県出身選手の中には、一昨年のインターハイで個人優勝し、高校横綱となった近畿大学2年の山口怜央(津島高校卒)、昨年のえひめ国体少年個人の部で準優勝した中央大学1年の住木厳太(野村高校卒)なども出場し、本県出身選手の成長ぶりにも期待と注目が集まりました。

大会は予選から番狂わせが相次ぎ、会場は異様な雰囲気包まれた。団体で大会最多優勝を誇る日本大学が予選リーグで2敗を喫し、個人戦では優勝候補が揃う東洋大学のレギュラー陣が予選で姿を消す波乱。しかし、大会前

から優勝候補の呼び声が高かった東洋大学は団体決勝トーナメントに入るとスイッチが切り替わったように本来の力を発揮し決勝戦まで勝ち上がりました。決勝戦は東洋大学と中央大学の対戦となり、本大会3連覇を狙う東洋大学か、25年ぶりの優勝を狙う中央大学か。観客の注目が集まった決勝戦。

地元野村高校出身、二陣の住木、副将の田中を擁する中央大学に観客の声援は集まりましたが、結果は東洋大学が5対0と圧勝。大会史上2校目となる団体3連覇を東洋大学が達成しました。

個人戦では、地元津島高校卒の山口怜央(近大)が準々決勝まで勝ち上がる活躍を見せました。準々決勝戦では日本体育大学のデルゲルバヤルと対戦。何度も土俵際まで交互に寄り合う大熱戦になりましたが、最後は寄り切れられ、あと一步、ベスト4進出(入賞)に及びませんでした。

個人決勝戦は、昨年のインカレで準優勝した近畿大学の元林健治と日本大学の榎波将史の対戦となりました。決勝戦の相撲は、元林が立ち合いすぐに相手の体勢を崩し、右手でまわしを取ると、上手出し投げで制しました。12年間、関東勢に個人優勝を独占されていましたが、関西勢、近畿大学の元林が意地を見せ、頂点まで上り詰めました。

本大会、愛媛県出身の選手の活躍に会場は大いに盛り上がりました。中大の田中(3年)、近大の山口(2年)、明大の宇都宮(2年)、中大の住木(1年)は、団体戦のレギュラーとして出場。来年度は、団体、個人でさらに上位を目指して活躍することを期待します。



▲左から個人優勝の元林(近大)、2位の榎波(日大)
3位の石崎(日体大)、4位のデルゲルバヤル(日体大)



▲団体優勝 東洋大学のメンバー



▲団体準優勝 中央大学のメンバー

2018年ベテランズ国際柔道大会(第15回日本マスターズ柔道大会)

執筆／(一財)愛媛県柔道協会 理事 柏田 訓

5月26日(土)・27日(日)に愛媛県武道館におきまして、2018年ベテランズ国際柔道大会が開催されました。

この大会は、30歳以上の国内外の柔道愛好家が集い、日ごろの修行と健康増進の成果を競い、併せて互いの友好・親睦を深めることを目的として開催され今年で15回目を数えます。

試合は、個人戦・団体戦・形の部門に分かれ、個人戦は男女ともに30歳から5歳ごと、体重もそれぞれ7階級に分かれ同年代の同じ階級の選手と戦うことができます。



開会式

団体戦は、男子が30歳代から10歳ごと、70歳代までの5人戦、女子は年齢順の3人戦で幅広い年齢で構成されたチーム戦となります。

またこの大会は、国民体育大会が開催された地において、その翌年に開催するよう計画されており、「2017愛顔つなぐ愛媛国体・柔道競技」の感動まだ冷めやらぬ中、愛媛の地で開催されることとなり、参加者も年々増え、今大会は国内外より598名(内外国人選手26名)の柔道愛好家が愛媛県武道館に集いました。

愛媛県勢は、65歳～69歳の部に出場した最年長、中山仁助 選手を筆頭に12名の参加があり、老獪な技、駆け引き、真剣勝負等々を楽しむことができました。

試合後には互いの健闘をたたえあい、すぐに仲間の輪を広げることができます。これも柔道競技のすば

らしい特徴の一つといえるのではないのでしょうか。

今回の大会で愛媛県勢の成績は、川野英二選手(40歳～44歳)の6連覇をはじめ、江戸正人、永田泰敏、柏田訓ら4名の優勝等すばらしい成績をおさめましたが、それ以上に多くの本県柔道愛好家に向けて、国内外の選手との交流を深めること、そして何より生涯スポーツとしての柔道の楽しさを広く知っていただくきっかけになったのではないかと思います。

来年は、福井県において開催の予定です。少し遠くはなりますが観光をかねて柔道大会に参加、または応援するなど計画されてはいかがでしょうか。

そして、大会の目的である健康増進を図るためにも日々の稽古に取り組まれることを期待します。

最後になりましたが、本大会の運営等に対し、関係各位に感謝・お礼を申し上げまして報告といたします。

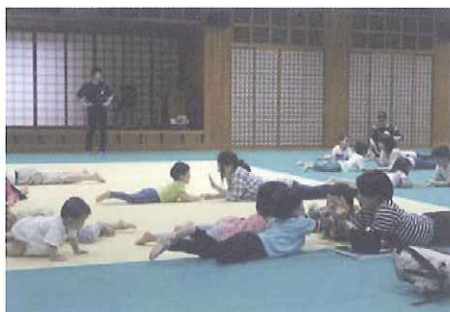


●親子健康づくり講座を開催しました!!

平成30年5月19日(土)に愛媛県武道館の柔道場において、(公財)愛媛県スポーツ振興事業団(愛媛県武道館 指定管理者)の主催で「第1回親子健康づくり講座」を開催しました。

講座には約50名の親子連れが参加。最初に身体測定と体力測定を行った後、親子でスキップを囲む各種運動をみんな笑顔で楽しんでいました。次回は、7月16日(月)海の日に柔道場で開催を予定しています。興味のある方は次の機会にぜひご参加ください。

(文責:事業係長 龍山義弘)



●運動神経がUPする体操講座(出張講座)を開催しました!!

(公財)愛媛県スポーツ振興事業団(愛媛県武道館 指定管理者)では、毎年、愛媛県武道館で開催して人気がある「運動神経がUPする体操講座」を県下の保育園、幼稚園に出張して行う事業を今年度から始めました。昨年度末に県内の保育園、幼稚園にアンケートをとって実施の希望があった県下11の幼稚園及び保育園で今年度開催を予定しています。

5月10日(休)に今年度、第1回目となる出張講座を四国中央市内の幼稚園で行いました。当日は天候にも恵まれ、芝生の園庭で園児(3歳児～5歳児)の約20名がバランスボールやサッカーボールを使ったエクササイズを楽しみました。最初は緊張していた園児たちも最後の方には、笑顔で事業団の指導員と遊んでいました。

(文責:事業係長 龍山義弘)



愛媛県武道館
ホームページ

